

2018年7月24日

担当者様

ウズベキスタンの建設分野で事業開拓に関心のある本邦 企業による調査団派遣と参加企業募集のお知らせ

大暑の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、野村総合研究所は国土交通省より「平成30年度「質の高いインフラ投資」の理解促進に向けた中央アジア・東南アジア地域等におけるインフラシステム海外展開促進支援業務」を受託しております。本業務において、ウズベキスタンの建設分野で事業開拓に関心のある本邦企業による調査団の派遣を2018年秋（時期未定、10月初旬で調整中）に予定しております。

日本とウズベキスタンの間では、「日・ウズベキスタン官民インフラ会議」が開催されており、2016年に第2回会合がウズベキスタン国タシケントで開催されました。引き続き、ウズベキスタン国と「質の高いインフラ」に関する技術情報の交換や、ウズベキスタン国への本邦企業の海外インフラ輸出に向けた取組を推進すべく、2018年度は10月後半に官民インフラ会議の開催を予定しております。

調査の対象分野は、具体的に以下を想定しております。

- 道路（コンクリート舗装、橋梁補修、アスファルト舗装補修、落石防止・落石除去）
- 下水道（管路補修）
- 治水
- 防災（斜面崩壊防止、斜面モニタリング）
- 住宅
- 都市公園
- 物流（コールドチェーン）
- その他（コンクリートひび割れ補修等、低コスト、簡易な維持管理技術）

本調査団派遣にあたり、ウズベキスタン訪問先の調整（官庁、現場視察他）、在京ウズベキスタン大使館との調整については調査受託者の野村総合研究所が行います。また、ミッション派遣に伴い、事務受託者が同行し、日露通訳も1名帯同させます。一方で、旅費について

では、原則的に応募各社に負担をお願いしたく考えておりますが、ウズベキスタンへの技術提供を相当の確度で行う希望を有する中小企業の方については、選定後に個別に相談に応じさせていただきます。

ウズベキスタン国は、山岳地域・乾燥地域を含む多様な気候を有する国です。旧ソ連地域に整備されたインフラが老朽化する一方、技術者数が少なく、技術水準が高くないなど、インフラ管理には多くの課題を抱えています。日本でも将来的な維持管理・更新費の増大が危惧される中、近年、特に、人手のかからない、低コストで、賢い技術が、中小企業を中心に開発されています。これらの技術の適用が期待されております。

調査時期・概要等が未定ではありますが、ご関心のある企業の方には、次頁以降の「参加申込書」に必要事項を記入の上、以下の連絡先まで電子メールにて 2018年8月10日18時 までにご提出下さい。応募いただいた企業の中から、数社程度を選定委員会において選定後、日程調整を含む連絡をさせていただきます。

ご検討よろしく申し上げます。

敬具

フォーム送付先・問い合わせ先

株式会社野村総合研究所
グローバルインフラコンサルティング部
植村哲士
080-2001-9114
uzbeq-mission@nri.co.jp



中央アジア地域(ウズベキスタン国)へのインフラ調査団派遣参加申込書

※個人及び貴社の情報については、守秘義務を遵守し、他の目的では使用しません。

1. 渡航予定者に関する
事項

所属先企業・団体 名	和 文	
	英 文	
所在地	〒	
渡航予定者氏名・ 年齢 ※ふりがなをふってくだ さい。		
		年齢 歳
所属部署・役職		
職種		
勤続年数		
連絡先(携帯)	国 内	
	海 外	
E-mail		
関心国 (該当国に○を記 入。 両方も可。)		ウズベキスタン
		キルギス
関心分野		

調査希望テーマ	
現地に導入を検討したい 技術やシステム	
中央アジア上記2カ国の 業務実績(過去10年間)	
業務実績 (中央アジア以外)	<p>■海外における従事技術分野の実績を記載(直近の順に記入)</p>
その他経歴、保有資格等専門性を示す 事項※論文、記事等 参考資料の添付も可。	<p>■業務表彰、その他</p>

2. 所属企業・団体に関する事項

資本金／従業員数	資本金	万円	／	従業員数	人
事業所の業種及び内容					
担当者連絡先 ※渡航予定者と同一の 場合は記入不要。	氏名				
	所属				
	TEL				
	E-mail				
会社概要 (有無のいずれかに○)	有	→参加申込書と一緒に送付してください。			
	無	→会社概要に代わる資料を送付してください。			